

初動支所班設置・運営マニュアル

本市地域防災計画に基づき本庁に設置される災害対策本部は、全市で発生している災害の全容をいち早く把握することで、国や県等の応援要請だけでなく救援物資搬送など市として対応すべき活動内容を判断し、機を逸することなく指示等を行うことで被害の軽減を担うものです。

災害対策本部の内部機関である初動支所班は、各市民センターを拠点として活動される学区自主防災組織と災害対策本部とのパイプ役として、地域で発生している被害状況を把握し、有効かつ合理的な災害応急対策活動を実施することとなります。

このマニュアルは、大津市が大規模災害に直面したときに初動支所班として参集する市職員が、混乱せずに素早く行動するための手順を取りまとめたものです。

なお、生命に係わる怪我を負った住民を救うには災害発生後、3日以内に救助し医療処置を受けさせないと極端に生存率が低下すると言われ、また、その頃には他府県からの応援や関係団体の支援が受けられると言われていています。これらの観点から、初動支所班は発災から概ね3日間を重点的に活動していただき、住民の心のケアを中心に活動していただきます。

【目次】

1	マニュアルの目的	p 1		
2	マニュアルの構成	p 1		
3	初動支所班の活動内容	p 2		
4	初動支所班情報伝達・意思決定機能関連図	p 4		
5	情報処理	p 5		
6	初動支所設置・運営フロー	p 6		
7	設置運営チェックリスト	p 8		
<様式>				
様式 1	庁舎安全確保点検表	p 13	様式 9	避難者一覧表 p 26
様式 2	参集報告書	p 14	様式 10	避難所日報 p 27
様式 3	災害概況報告	p 15	様式 11	避難所（開設・閉鎖）状況報告書 p 28
様式 4	災害概況速報	p 16	様式 12	避難所開設状況報告 p 29
様式 5	避難所安全確認調査表	p 16	様式 13	遺体安置所（開設・閉鎖）状況報告書 p 30
様式 6	避難所施設被害チェックリスト	p 18	様式 14	遺体処理台帳 p 31
様式 7	遺体処理記入表	p 22	様式 15	遺体安置所状況報告 p 32
様式 8	避難者名簿	p 23	情報整理フォーマット	p 33

平成 26 年 4 月

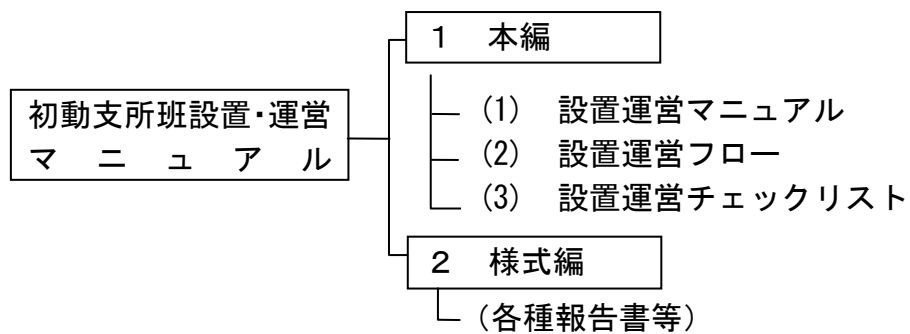
危機・防災対策課

初動支所班設置・運営マニュアル

1 マニュアルの目的

本マニュアルは、災害発生時に設置される「初動支所班」の開設及び運営に関する各事項について定め、迅速かつ組織的に災害対策を実施することを目的とする。

2 マニュアルの構成



3 初動支所班の活動内容

(1) 班長（支所長）

① 機能

災害時における地域の中核としての初動支所班を設置し、自主防災組織等と連携し管内の被害状況を把握し、有効かつ合理的な災害応急対策活動を実施するため、初動支所各班を活動させ、各班を指揮監督するとともに、災害対策復旧活動連絡員（風水害）・災害対策本部及び関係各機関との調整連携を行う。

② 任務分担

ア 初動支所班の統括

イ 進行管理及び意思統一

業務進行を管理し、状況に応じて適宜、ミーティングを開催し、意思統一を図る。

ウ 任務分担

エ 活動スペースの選定

建物安全の良否を判断の上、活動スペースの選定を行う。

オ 健康管理

災害の規模、情勢を見極め、初動支所班機能が継続できるよう適宜、指示を与える。また、災害対策本部への進言を行う。（飲食、休憩、仮眠、交代員等）

カ 地域関係者との連絡調整

(2) 班員

① 機能

災害時における地域の中核として、有効かつ合理性のある災害対策を実施するために必要と思われる被害情報・対応状況などを収集・分析・整理するとともに、災害対策本部との災害応急対策活動の調整・連携を行う。

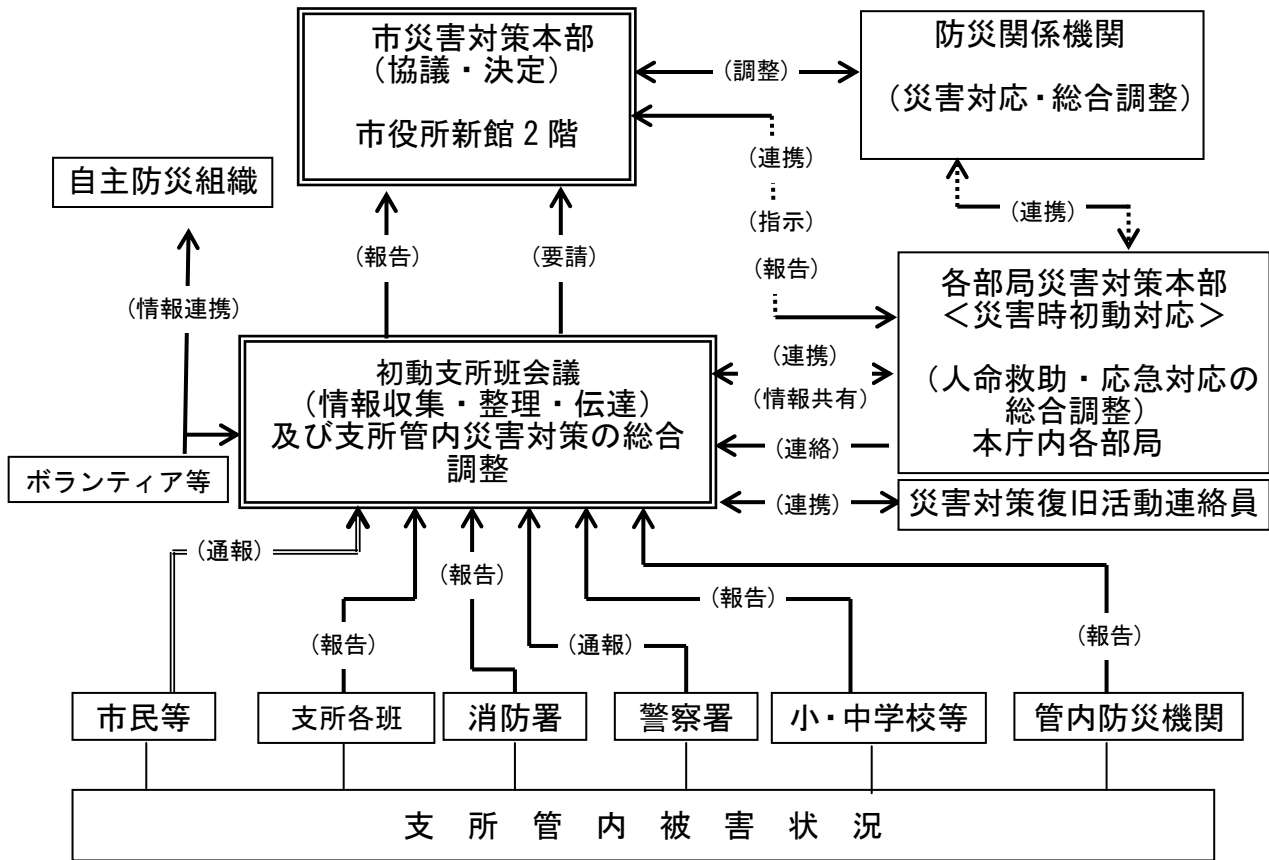
② 任務分担

- ア 初動支所班の庶務
- イ 庁舎の管理保全
- ウ 本部長命令の伝達
- エ 被害情報の集約
- オ 災害対策本部への応急対策活動の報告
- カ 災害対策本部への被害状況等の報告
- キ 自主防災組織等の活動状況の把握及び情報連携
- ク 災害対策本部、管轄区域内の避難所等との連絡調整

③ 概要

- ア 登庁した職員、市民等からの様々な情報を収集する。
- イ 重要な報告内容は、大声で読上げなど班全員に周知する。
- ウ 重要な報告内容は、逐次、災害対策本部に速報する。
- エ 防災行政無線・MCA 無線を開局し、情報収集及び迅速な情報伝達を行う。
- オ 収集した情報を整理し、班員全員が見られるようにホワイトボード等に掲示するとともに、大津市総合防災情報システムへの登録や文書資料用の電子データを作成する。
- カ 整理した文書資料用の電子データを災害対策本部に報告する。
- キ 災害対策本部から指示を受けた確認事項について、他機関等へ問合せをするなどして、回答を行う。また、回答の管理を行う。

4 初動支所班情報伝達・意思決定機能相関図



- ※ 被災支所は、被害等の情報収集に活動を傾注し、時点における状況を逐次、災害対策本部に情報伝達すると共に、総合防災情報システムを活用し情報登録や被害状況及び対応状況等を把握する。
- ※ 災害規模により初動支所班が不足する支所には、被害のない地域支所との間で互いに補完し合う体制とする。
- ※ 災害規模により初動支所班が不足する支所には、対応が必要な事案に対して所管する部局から職員を増員する。

5 情報処理【システム利用不可時の情報整理フォーマットは後述】

受信を担当する班員（以下、「受信担当」）が、情報の全てを受信通報者へ対応可否・見込み等を伝える。



受信担当は、受信した情報を、整理を担当する班員（以下、「整理担当」）に伝達。



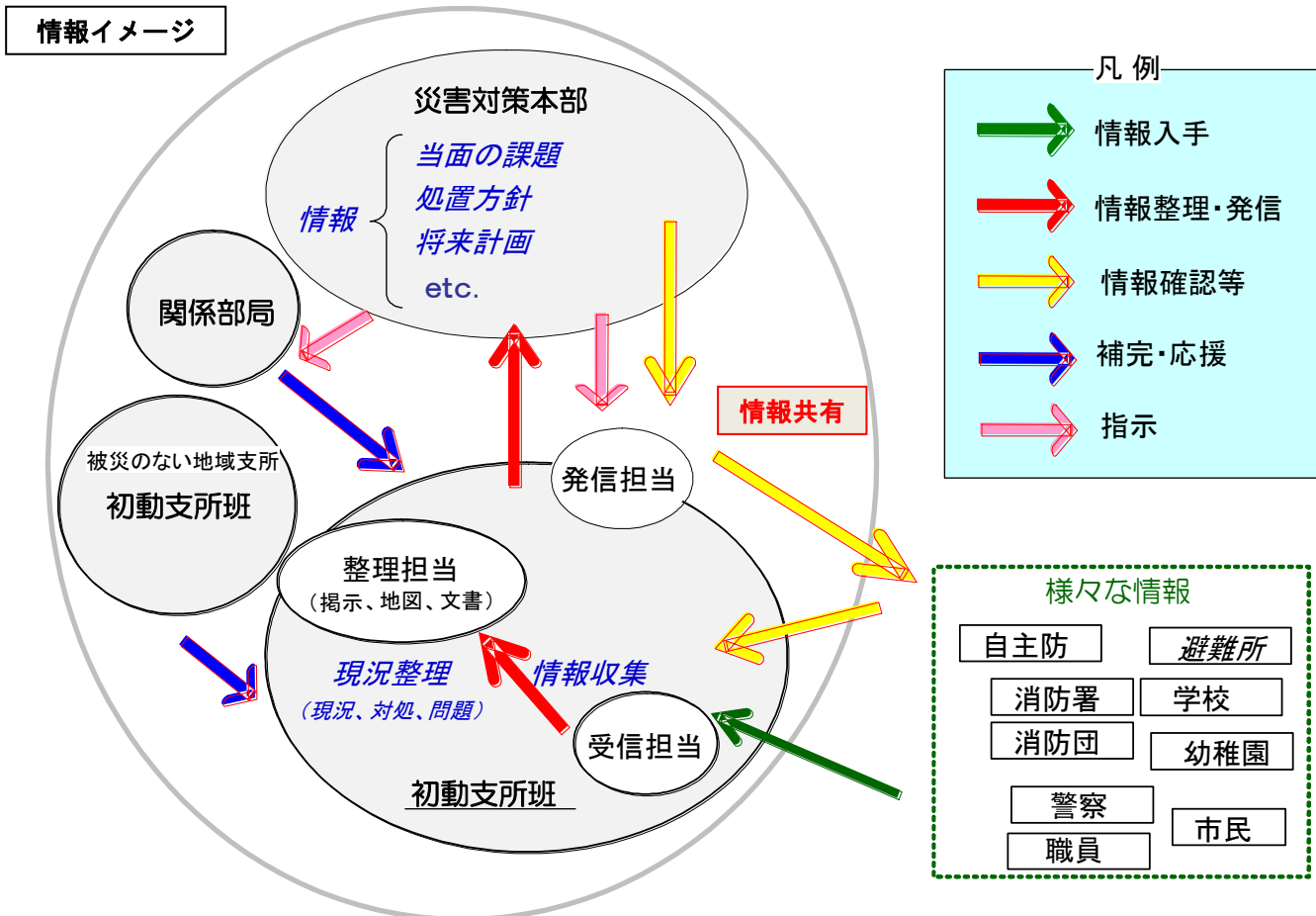
整理担当は、伝達された情報にもとづき、分野別（消火など）の現況（被害、対処状況、問題）を、整理（模造紙、地図）。



発信を担当する班員（以下、「発信担当」）は、総合防災情報システムへ登録し、災害対策本部に報告すると共に、対応経過等をパソコンで管理する。



発信担当は、災害対策本部から指示を受けた確認事項について、他機関等へ問合せをするなどして、回答を行う。また、回答の管理を行う。
また、総合防災情報システムを活用し、被害状況や対応状況等を把握する。

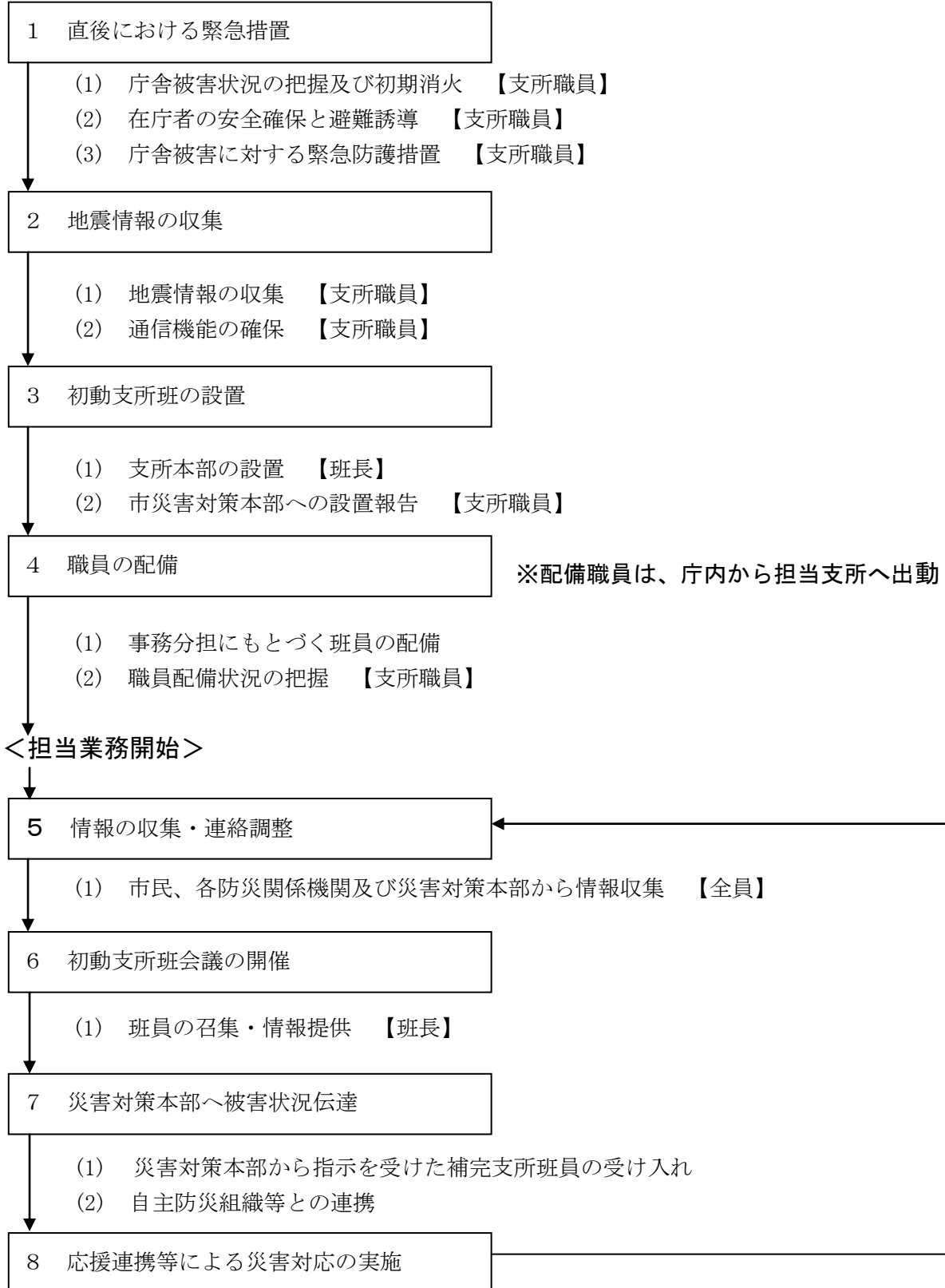


6 初動支所設置・運営フロー

※ 災害状況に応じて下記の各事項が同時進行・前後する場合があります。

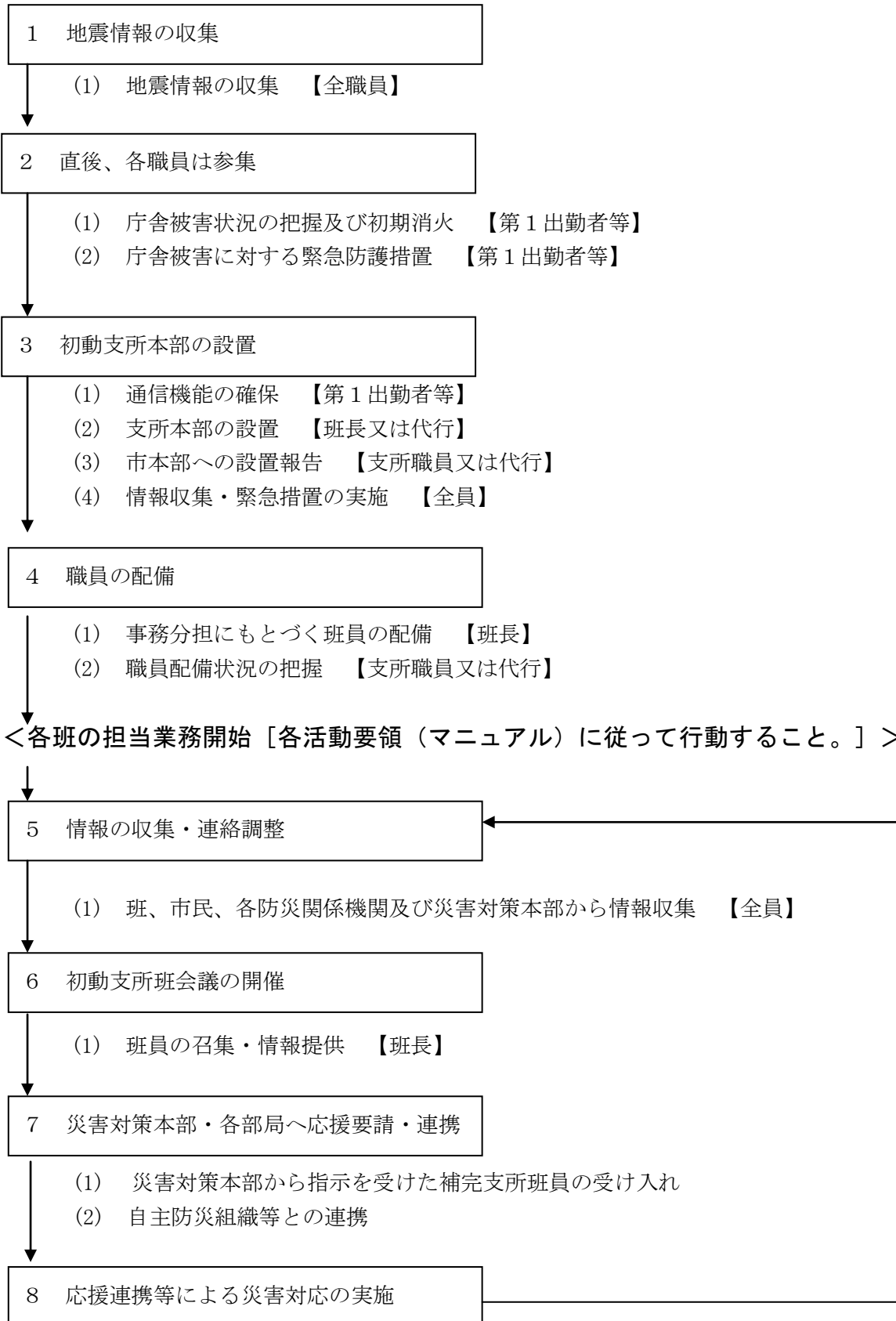
<勤務時間内災害発生>

[地震発生（震度5強以上）]



<勤務時間外災害発生>

[地震発生（震度5強以上）]



7 設置運営チェックリスト

初動支所班活動要領

【初動支所班長（支所長）】

1. 初動支所班設置・機能確認
2. 参集人員の把握
3. 初動支所班活動の指揮監督
4. 管内被害予測
5. 災害対策本部との連絡調整
6. 初動支所班各活動状況の掌握
7. 災害対策本部への応援要請の判断
8. 避難所予定施設が不足（施設の被災等）する場合、災害対策本部へ追加指定を要求

【支所職員又は第1出勤者】

1. ■ 市民センター庁舎・施設の被害確認 【様式-1】

- 庁舎柱（圧壊・折損・鉄筋露出 等）
- 庁舎壁面（破断・クラック等）
- 庁舎附帯設備（窓・間仕切り等の破損 等）
- 通信関係（無線の開局・電話通話試験）
- 設備関係
- 水道（管損傷・漏水・給水停止・その他）
- 下水（トイレ使用可否・排水溝 等）
- ガス（爆発・ガス漏れ・ガス臭有り・その他）
- 電気（消灯のまま・ショート・漏電）
- 火災（状況： ）
（処置： ）
- 電話（状況： ）
（処置： ）
- その他（ ）

2. ■ 支所班員の参集状況

- 参集報告書に参集状況を記録 【様式-2】
- 参集人員を総合防災情報システムに登録
- 未参集職員の安否確認

3. ■ 初動支所設置及び連絡（下記関係機関へ）

- 災害対策本部
- 消防署
- 自主防災組織
- 自治連合会 等

4. ■ 必要な事務用品を揃える。

【情報収集活動】

1. ■ 災害対策本部へ被害状況の報告 【様式－3】
- 被害の予測
 - 総合防災情報システム登録（システム利用不可時は災害概況速報様式による）
 - 災害対策本部へ報告
 - 有線ファックス・庁内メール・有線電話・防災行政無線

2. ■ 被害概況速報様式に集約 【様式－4】

※総合防災情報システム利用可能時は、同システムを活用する。

- 支所周辺の被害状況を確認（人的・施設・火災・建物・地盤等）
- 人的被害（死者・行方不明者・負傷者） ≪概数～時点確定情報≫
- 住家被害（全壊・半壊・一部損壊・床上浸水・床下浸水）
≪概数～時点確定情報≫
- 非住家被害（公共建物・その他）
- 火災等の二次災害の発生状況、危険性
- 住民の動向（避難状況等）
- 道路交通状況や被害状況（通行の可否等）
- 公共施設（医療機関、福祉施設等）
- 交通機関被害状況や運行状況（JR・京阪電鉄、公共バス等）
- ライフライン（水道・電気・ガス・電話等）の被害状況
- その他（土砂・崖崩れの状況等）

3. ■ 災害対策本部への応急対策活動の報告

- 避難勧告、指示状況（発令時刻・地域等）
- 救助活動状況
- 避難所開設情報（避難所名・避難者数等）【様式－11】
- 救護所開設情報（救護所開設場所・開設スタッフ状況等：中間・確定）
【様式－12】
- 避難所の不足等における情報
- 要配慮者の援護の種類等を勘案した情報
- 応急措置等行った措置（各機関の応急対策活動状況）
- ボランティアを必要とする情報
- ボランティア・自主防災組織等の活動状況
- 遺体対応状況 【様式－13】
- 遺体処理台帳及び遺体安置所状況報告（中間・確定）を取りまとめ
【様式－14・15】

※4. ■ 警戒区域の設定（消防機関からの要請で実施）

- 火災警戒区域（消防）設定を住民に伝達
- 消防警戒区域（消防設定）設定を住民に伝達

- ※5. ■ 避難勧告・指示（消防機関の要請により実施）
- 避難勧告・指示を関係住民に伝達
 - 関係地区の自主防災組織・自治会等の責任者に伝達
 - 避難勧告・指示の伝達内容
 - ・ 避難勧告又は指示者
 - ・ 勧告又は指示の理由
 - ・ 避難を要する地域
 - ・ 避難所の指定
 - ・ 避難経路（必要な場合）
 - ・ 注意事項（火災・盗難の予防・携行品等）

※は、要請があった場合に実施

本来、各部局で行うべき内容であるが、

被災支所地域で活動支援が必要となった際等に使用

1. ■ 救援活動拠点の選定
 - 被災地周辺拠点として、小中学校を選定
 - 施設管理者と連携【様式－5・6】
 - 応急救護所の設置支援（場所選定等）
 - ・ 健康保険部職員と連携

2. ■ 食料、日用品等生活必需物資の調達等
 - 食料、日用品等供給の対象者把握
 - ・ 避難所に収容された者
 - ・ 住家被害により炊事が出来ない者※対象者を予測
 - 各避難所からの避難者数、避難者名簿等を取りまとめ
 - 必需品の把握
 - ・ 生活必需品の品目需要の把握と災害対策本部への連絡
 - ・ 要配慮者に対しての必需品の品目需要の把握と災害対策本部への連絡
 - 備蓄食料等の受け入れ、管理
 - ・ 地元自主防災会に要請
 - 備蓄食料等の分配
 - ※ 地元責任者に分配（直接、職員が各人に配布を行わない。）
 - ・ 地元関係者と協力し配布
 - ・ 公平に配布するよう努める
 - ・ 要配慮者優先、少量均等配分
 - ・ 避難者への十分な説明
 - 在宅被災者への生活必需品の分配
 - ・ 避難所における分配を原則
 - ・ 要配慮者等への分配は、自主防災組織及びボランティア等の協力を依頼
 - 備蓄食料等の調達
早期に要給食者数を把握し、調達必要数を推測し、災害対策本部へ要求
 - 日用品等生活必需物資の調達
早期に避難者数を把握し、調達必要数を推測し、災害対策本部へ要求（救援物資への期待）

3. ■ 遺体の安置、処理
- 遺体安置所は、公共施設や地域の寺院等の中から避難所等に使用されていない場所を選定
 - ・ 第1段階 協力してもらえる寺院
 - ・ 支所近くの幹線道路周辺、公的施設
 - ・ 確保困難時、テント張りでの安置も検討
 - 遺体の性別、推定年齢、遺品等を遺体処理記入表に記入【様式ー7】
 - 遺体処理に関し、日本赤十字社、医療機関との連携
 - 遺体処理に係る資機材の調達
4. ■ 避難所の運営補助
- 施設管理者（又は避難対策担当者）は、避難所管理責任者となる。
 - 当該施設の実情に応じて避難所運営委員会の設置（自主防災会会長等と協議）
 - 避難所運営協議会で協議運営されるように、指導運営補助を行う。
 - 避難所・避難者情報の収集を行う。
 - ・ 避難者数等の概数把握
 - ・ 避難者名簿の作成
 - ・ 避難所日報による収容状況、住民ニーズの把握【様式ー8、9、10】
 - 要配慮者の状況把握
 - 避難所へ配布される食料・物資等を避難所運営協議会担当者へ配布
 - 救護所設置の支援（健康保険部所管）
 - 要配慮者の援護
 - ・ 福祉子ども部・健康保険部への要請
5. ■ ボランティア、自主防災組織等の活動状況の把握及び連携
- 避難所におけるボランティアの活動状況の把握
 - ・ 活動分野、活動場所、活動人員等
 - 避難所における、自主防災組織の活動状況の把握
 - ボランティア及び自主防災組織との連携
6. ■ 避難者等市民からの緊急問い合わせ、相談、要望等の対応
（参考：避難所の活用）
- 地域の災害対策活動拠点として活用
 - 情報収集・伝達拠点として活用
 - 食料、生活必需品の供給拠点として活用
 - 給水活動の拠点として活用
 - 保健衛生活動拠点として活用
 - 地域救護活動拠点として活用
 - その他の対策活動野拠点として活用

庁舎安全確保 点検表

()支所

報告者: _____

注 調査後、支所長へ報告すること

項 目		被害のあり・なし および「あり」のときの状況説明		
		なし	あり	
庁舎	柱		<input type="checkbox"/> 圧壊 <input type="checkbox"/> 折損 <input type="checkbox"/> 鉄筋露出	
	壁面		<input type="checkbox"/> 破断 <input type="checkbox"/> X字クラック <input type="checkbox"/> 非X字クラック	
設備	水道		<input type="checkbox"/> 管損傷 <input type="checkbox"/> 漏水 <input type="checkbox"/> 給水停止 <input type="checkbox"/> その他	
	下水		<input type="checkbox"/> トイレ使用可否 <input type="checkbox"/> 排水溝 <input type="checkbox"/> その他	
	ガス		<input type="checkbox"/> 爆発 <input type="checkbox"/> ガス漏れ <input type="checkbox"/> ガス臭あり <input type="checkbox"/> その他	
	電気		<input type="checkbox"/> 消灯のまま <input type="checkbox"/> ショート <input type="checkbox"/> 漏電	
	火災		状況	処置
	電話		状況	処置
	その他 ()			

様式-2

参集報告書

平成 年 月 日
時 分現在

大津市災害対策本部長 様

支所

報告者 : _____

班名	氏名	月日	登庁時間	退庁時間	備考

学区自主防災会 参集人数	人
--------------	---

報告先
総務部 危機・防災対策課

この様式は解散時に再度使用します。

様式-3

災害概況報告

※「受信者氏名」、「第○報」、「処理確認」は危機・防災対策課で記入しますので記入しないで下さい。

受信者氏名	
第	報
災害名	

報告日時	月日	
	時間	
所属名		
報告者		

処理確認	
------	--

発生概況	発生場所					発生日時	月日			
						時間				
被害状況	死傷者	死者		不明		住家	全壊		一部破損	
		負傷者		計	0人		半壊		床上浸水	
								床下浸水		
応急対策の状況	対応機関名									

被害概況速報

(支所管内)

第1報	支所	報告日時	26日 時現在	受信日時	※ 日 時現在
		受信者	※	発信者	
区 分		人的被害、建物被害の参考情報			
人的被害	死者	人	※		
	行方不明者	人			
	負傷者	重傷	人		
		軽傷	人		
住家被害	全壊（焼）又は流失	棟			
		世帯			
		人			
	半壊（焼）	棟			
		世帯			
		人			
	一部破損	棟			
		世帯			
		人			
	床上浸水	※棟			
※世帯					
※人					
床下浸水	※棟				
	※世帯				
	※人				
非住家被害	公共建物	※棟			
	その他	※棟			
火災発生状況	※				
道路、橋梁の状況	※				
電気・ガス・水道・下水の状況	※				
住民の動向（避難状況等）	※				
その他の被害状況	※				

メール送信先 総務部 危機・防災対策課

避難所安全確認調査表

1. 対象建築物

名 称	
所在地	大津市

2. 管理者

氏 名			
住 所			
施設連絡者	役職名	氏名	電話

3. 調査概要

調査年月日	平成 年 月 日 ()	時 間	
調査者	氏 名	連絡先	住 所 電 話
			TEL
立会者			

4. 調査結果の概要

使用の是非	使用可	使用不可	条件付使用可
調査結果の概要等			

5. 避難所安全確認調査表記入要領

- (1) 各チェックポイントについて、「状況、避難所使用への影響、避難所使用に影響があると思われる場合の処置等」の項目を判定する。
- (2) 「状況」の有無判定は、被害・損傷等の有無に○印を付ける。
- (3) 避難所使用への影響判定は、状況判定に基づき、使用影響の有無について○印を付ける。

※ 次の状況がみられたとは、確認調査表の判定にかかわらず避難所使用不可とする。

- 建築物全体又は一部の崩壊・落階
- 基礎の著しい破壊、上部の構造との著しいずれ
- 建物全体又は一部の著しい傾斜

<p>1. 建物概要</p> <p>所在地: _____</p> <p>建物名称: _____ 建物用途: _____</p> <p>管理者:氏名 _____ 建設年: _____</p>
<p>2. 次の質問の該当するところに○をつけて下さい。</p> <p>質問1. 建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化などが生じたか？</p> <p>A. 生じていない。 B. 生じた。 C. ひどく生じた。</p>
<p>質問2. 建物が沈下しましたか。あるいは、建物周辺の地面が沈下しましたか？</p> <p>A. 沈下していない。 B. 沈下は数cm 程度と少ない。 C. 沈下は 10cm 以上である。</p>
<p>質問3. 建物が傾斜しましたか？</p> <p>A. 見た目だけでは判らない。 B. 目で見てかすかに傾斜している。 C. 目で見て明らかに傾斜している。</p>
<p>質問4. 建物の外壁が壊れましたか？</p> <p>A. 壁面にわずかな割れ目（以下「亀裂」と呼ぶ）が生じている。壊れていない場合も含む。 B. わずかな落下や目地（外壁のつなぎ目）の部分にずれが生じている。 C. 壊れて部分的あるいは大きく剥がれ落ちている。壁面全体に「亀裂」が入っているか、あるいは、剥がれて落下しそうである。 （なお、ひさし・バルコニーや屋外広告物など高いところにある重量物が、グラグラして落ちそうになっている場合は、「C」と答えて下さい。）</p>
<p>質問5. 建物の内壁が壊れましたか？</p> <p>A. わずかな亀裂が生じている。壊れていない場合も含む。 B. わずかな落下が生じている。 C. 壁が部分的あるいは大きく剥がれ落ちている。</p>
<p>質問6. 床が壊れましたか？</p> <p>A. いいえ。 B. 少し傾いている。下がっている。 C. 大きく傾いている。下がっている。</p>
<p>質問7. 鉄骨の柱の脚部でコンクリートと接する部分が壊れましたか？</p> <p>A. 健全である。内外装など仕上げのために見えない場合も含む。 B. コンクリートの損傷は、亀裂が少し見られる程度である。 C. コンクリートが潰れるように壊れている。あるいは、柱をコンクリートにとめているボルト（アンカーボルト）が破断・引き抜けている。</p>

<p>質問8. 筋交い(すじかい)が切断しましたか？</p> <p>筋交いには、天井面に配された水平筋交いと壁面に配された鉛直筋交いがあります。鉛直筋交いは、壁面の窓の開閉の邪魔になる斜めの材です。</p> <p>A. 筋交いに損傷はほとんど見られない。内外装など仕上げのために見えない場合も含む。</p> <p>B. 筋交いの破断が極わずか見られる程度である。あるいは、よく見ると筋交いの端のボルトでつないだ部分や溶接した部分にすべりや破断の兆候がみられる。</p> <p>C. 筋交いの破断が各所で見られ、切れた筋交いの本数は全体の本数の半分程度である。</p>
<p>質問9. ドア・窓などが壊れましたか？</p> <p>A. わずかな亀裂程度で、開閉には少々支障をきたす程度である。壊れていない場合も含む。</p> <p>B. ドア・窓がかなり開閉しにくい。また、角(カド)の部分に亀裂などが生じている。</p> <p>B. ドア・窓が開閉できない状態であるか著しく壊れている。(C の解答はありません。)</p>
<p>質問10. 天井や照明器具などが壊れましたか？</p> <p>A. 壊れていない。</p> <p>B. 落ちそうになっている。</p> <p>B. 落下した。(何が:) (C の解答はありません。)</p>
<p>質問 11. その他目についた被害を記入して下さい。</p>

3. 質問1～10を集計して下さい。			
集 計	A	B	C
	()	()	()

※ C の答えが一つでもある場合は『危険』です。また、質問1～8にB の答えがある場合は『要注意』です。

避難者を建物内に入れないようにし、市が協定を結ぶ建築士の派遣を災害対策本部事務局に要請します。

※ それ以外は『安全』ですが、その場合でも、状況が落ち着いたら災害対策本部事務局に要請し、市が協定を結ぶ建築士または、応急危険度判定士の判定を受けて下さい。

1. 建物概要	
所在地: _____	
建物名称: _____	建物用途: _____
管理者:氏名 _____	建設年: _____

2. 次の質問の該当するところに○をつけて下さい。	
質問1. 建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化などが生じたか？ A. いいえ。 B. 生じた。 C. ひどく生じた。	
質問2. 建物が沈下していますか？あるいは、建物の周辺の地面が沈下しましたか？ A. いいえ。 B. 10cm 以上沈下している。 C. 20cm 以上沈下している。	
質問3. 建物が傾斜しましたか？ A. いいえ。 B. 傾斜しているような感じがする。 C. 明らかに傾斜した。	
質問4. 床が壊れましたか？ A. いいえ。 B. 少し傾いている。下がっている。 C. 大きく傾斜している。下がっている。	
質問5. 柱が折れましたか？ A. いいえ。 B. コンクリートが剥がれている。 B. 大きなひびが入っている。 B. 中の鉄筋が見えている。 C. 柱が折れている。	
質問6. 壁が壊れましたか？ A. いいえ。 B. コンクリートが剥がれている。 B. 大きなひびが入っている。 B. 中の鉄筋が見えている。 C. 壁がくずれている。	
質問7. 外壁タイル・モルタル、看板などが落下しましたか？ A. いいえ。 B. 落下しそう。(何が: _____) B. 落下した。(何が: _____) (C の解答はありません。)	
質問8. 天井、照明器具が落下しましたか？ A. いいえ。 B. 落下しそう。(何が: _____) B. 落下した。(何が: _____) (C の解答はありません。)	
質問9. ドアや窓が壊れましたか？ A. いいえ。 B. ガラスが割れた。 B. 建具・ドアが動きにくい。 B. 建具・ドアが動かない。 (C の解答はありません。)	
質問10. その他目についた被害を記入してください。	

3. 質問1～9を集計して下さい。			
集 計	A	B	C
	(_____)	(_____)	(_____)

- ※ C の答えが一つでもある場合は『危険』です。また、質問1～7にB の答えがある場合は『要注意』です。避難者を建物内に入れないようにし、市が協定を結ぶ建築士の派遣を災害対策本部事務局に要請します。
- ※ それ以外は『安全』ですが、その場合でも、状況が落ち着いたら災害対策本部事務局に要請し、市が協定を結ぶ建築士、または、応急危険度判定士の判定を受けて下さい。

1. 建物概要	
所在地: _____	
建物名称: _____	建物用途: _____
管理者:氏名 _____	建設年: _____

2. 次の質問の該当するところに○をつけて下さい。	
質問1. 建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化などが生じたか？	
A. いいえ。	B. 生じた。 C. ひどく生じた。
質問2. 建物の足元(基礎)が壊れましたか？	
A. いいえ。	B. 壊れたところがある。 C. ひどく壊れた。
質問3. 建物が傾斜しましたか？	
A. いいえ。	B. 傾斜したような感じがする。 C. 明らかに傾斜した。
質問4. 床が壊れましたか？	
A. いいえ。	B. 少し傾いた、下がった。 C. 大きく傾いた、下がった。
質問5. 柱が折れましたか？	
A. いいえ。	B. 割れを生じたものがある。 C. 完全に折れたものがある。
質問6. 内部の壁が壊れましたか？	
A. いいえ。	B. ひび割れや目透きが生じた。 C. 土壁が落ちたり、ボードがはらんだりした。
質問7. 外壁のモルタルが落下しましたか？	
A. いいえ。	B. 落下しかけている。 B. 落下した。(Cの解答はありません。)
質問8. 屋根瓦が落下しましたか？	
A. いいえ。	B. ずれた。 C. 落下した。
質問9. 建具やドアが壊れましたか？	
A. いいえ。	B. 建具・ドアが動きにくい。 C. 建具・ドアが動かない。
質問10. ガラスが割れましたか？	
A. いいえ。	B. 数枚割れた。 B. 沢山割れた。(Cの解答はありません。)
質問11. 天井、照明器具が落下しましたか？	
A. いいえ。	B. 落下しかけている。 C. 落下した。
質問12. その他目についた被害を記入して下さい。	

3. 質問1～11を集計して下さい。			
集 計	A	B	C
	()	()	()

※Cの答えが一つでもある場合は『危険』です。また、質問1～8に B の答えがある場合は『要注意』です。
 避難者を建物内に入れないようにし、市が協定を結ぶ建築士の派遣を災害対策本部事務局に要請します。
 ※それ以外は『安全』ですが、その場合でも、状況が落ち着いたら災害対策本部事務局に要請し、市が協定を結ぶ建築士、または、応急危険度判定士の判定を受けて下さい。

遺 体 処 理 記 入 表

処理年月 日	遺体発見の日時及び場所		死亡者氏名	性別	年齢 (推定)	遺品等	備 考
	日 時	場 所					
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
	日 AM PM :			男・女			
計			人				

避難者 → 名簿班(市担当者)

(避難所名)

No. _____

避難者名簿

組名 _____

① 世帯代表者氏名						住所		
② 入所日時		年 月 日 時 分				電話	()	
家 族	ふりがな	避難状況 ※ ア 避難所 イ テント ウ 車 エ 在宅避難者 オ 帰宅困難者 カ その他	年 齢	性 別	災 害 時 要 援 護 者	所属 自治会名		
	氏 名					家屋の 被害状況	全壊 ・ 半壊 ・ 一部破損 停電 ・ ガス停止 ・ 断水 電話不通	
						親族等 連絡先	住所	
							氏名	
							電話	
						車 (使用者のみ)	車種	色
							ナンバー	
※注意※ 避難した人だけを書いてください。 (ご家族に、病気や障害等特別の配慮を必要とする人や、入れ歯やめがねの不備等、注意点があつたらお書きくだ さい。)								
③ 個人情報の 取り扱い	ご親族の方々等に安否をお知らせするため、住所、氏名、性別を公表し、また、他 からの問合せに回答する予定ですが、希望しない場合は、右の欄を「○」で囲んでく ださい。					希望しない		
④ 退所日時	年 月 日 時 分				登録	*		
転出先 住所 (氏名) 電話					退所	*		

◎ この名簿は、入所時に世帯代表の方が記入し、名簿班へお渡しください。

〔避難者の方へ〕

- 入所にあたり、この名簿を提出することで、避難者登録され、避難所での生活支援が受けられるようになります。
- 内容に変更のある場合は、速やかに名簿班に申し出てください。
- ご親族の方々等に安否をお知らせするため、住所(〇〇町〇〇丁目まで)、氏名、性別に限り公表し、また、他からの問い合わせに対し回答することとしています。
(プライバシーの問題がありますので、公表に同意するかどうかは、ご家族で判断してください。)

※ 在宅避難者・・・自宅に住むことはできるが、ライフラインの途絶などの理由で生活ができず、避難所の施設を利用したり、食料・物資の配給などを受ける者

※ 帰宅困難者・・・出張や旅行等で交通機関が不通のため帰宅できなくなった者

様式－8. 2 (英語版)

避難者 → 名簿班(市担当者)
 (避難所名)
 No. _____

避難者名簿 (Emergency Evacuation Form)

組名 _____

①	だいひょうしゃのなまえ 代表者の名前 Name of Household		じゅうしょ 住所 (Address)					
	入所日にゅうしょび Admission Date	年 月 日 YY MM DD	でんわ 電話(TEL)		()			
②	家族 Family Members (かぞく)	なまえ 名前 Name	避難状況 (Evacuation Status) *See below for 4 and 5 1 避難所 (Emergency Shelter) 2 テント (Tent) 3 車 (Car) 4 在宅避難者 (Home Evacuee) 5 帰宅困難者 (Temporary Evacuee) 6 その他 (Other)	A 年 g 年 e 齢	S 性 e 別 x	こくせき 国籍 (Nationality)		
						パスポート番号 (Passport Number)		
						自治会・町内会名 (Name of Neighborhood Association)		
						はなすことば (Language)		
						日本語能力 にほんご (Japanese Language Skills)	<input type="checkbox"/> できる (conventional) <input type="checkbox"/> すこし (Limited) <input type="checkbox"/> あいさつ程度 (Very Limited) <input type="checkbox"/> できない (None)	
							家屋の被害状況 いえのひがい (Damage to the Residence)	<input type="checkbox"/> 全壊・半壊・一部破損 <input type="checkbox"/> Completely Destroyed / <input type="checkbox"/> Heavily Damaged / <input type="checkbox"/> Minor Damage
						親族等連絡先 (Next of Kin or Guardian)	Address	
							Name	
						車 (Car) (使用者のみ)	車種 (Model) 色 (Color)	
							ナンバー (License No.)	
※注意※ 避難した人だけ書いてください。 <Note> Only persons evacuating								
Remarks 備考	(当てはまるもの全てにチェックしてください。また、特別な配慮がいる人や、食事療法、ペットなど付け加えたい事項があればお書きください) (Check all if applies and write any comments that you want to add for special needs, diet, pets, etc.)							
	<input type="checkbox"/> physically disabled (身体障害) <input type="checkbox"/> vision impaired (視覚障害) <input type="checkbox"/> hearing impaired (聴覚障害) <input type="checkbox"/> speech impaired (言語障害) <input type="checkbox"/> confined to bed (寝たきり) <input type="checkbox"/> respirator (人工呼吸器) <input type="checkbox"/> allergies (アレルギー) <input type="checkbox"/> use wheelchair/walker (車椅子/杖) <input type="checkbox"/> other (その他) ()							
③	個人情報の 取り扱い (Privacy Policy)	安否をお知らせするため、住所、氏名、性別を他からの問い合わせに対し回答する予定ですが、希望しない場合は、○で囲んでください。(プライバシーの問題がありますので、公表の不同意はご家族で判断してください。) Personal information (name, address, sex) will be used only to assure your safe and timely evacuation if requested by police, fire officials, your family, etc. If you wish to keep it confidential, circle No in the box. (In terms of privacy policy, please discuss with your family and make a decision on which way to follow)			希望しない NO			
④	退出日時 Leaving Date	年 月 日 時 分			登録 *			
	転出先 住所 (New Address) (氏名)(Name) 電話(TEL)				退所 *			

◎ この名簿は、入所時に世帯代表の方が記入し、名簿班へお渡しください。
 (This form must be completed by the representative of the household, and submitted to the register section (city staff) when you are admitted to the emergency shelter.)

【避難者の方へ】 Note:
 ○ 入所にあたり、この名簿を提出することで、避難者登録され、避難所での生活支援が受けられるようになります。
 ・You may receive the life support service at the emergency shelter by submitting this form after registration.
 ○ 内容に変更のある場合は、速やかに名簿班に申し出てください。
 ・Please notify the register section (city staff) immediately if any changes occur.

※ 住宅避難者・・・自宅に住むことはできるが、ライフラインの途絶などの理由で生活ができず、避難所の施設を利用したり、食料・物資の配給などを受ける者
 *4: Home Evacuee: Those who are able to live in your own house, but need to use the facilities of emergency shelter or draw rations of food and commodities because of no resources.
 ※ 帰宅困難者・・・出張や旅行等で交通機関が不通のため帰宅できなくなった者
 *5: Temporary Evacuee: Any travellers, commuters, students who have difficulty returning home after a large-scale natural disaster such as earthquake, typhoon, etc.

様式 8. 3 (記入例)

避難者 → 名簿班(市担当者)

(避難所名)

No. ←「避難者一覧表」の世帯代表者の該当番号です

避難者名簿

組名 ←避難所での「組」です

①	世帯代表者氏名	大津 太郎				住所	大津市二番町7-4		
②	入所日時	〇〇年 〇〇月 〇〇日 〇〇時 〇〇分				電話	〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇		
	家族	ふりがな	避難状況 ※ ア 避難所 イ テント ウ 車 エ 在宅避難者 オ 帰宅困難者 カ その他	年 齢	性 別	災害時 要 援 護 者	所 属 自治会名	〇〇〇町〇〇丁目自治会	
		おお つ た ろう 大津 太郎	ア	44	男			家屋の 被害状況	全壊・半壊・一部破損 停電、ガス停止、断水 電話不通
		おお つ はな こ 大津 花子	ア	44	女			親族等 連絡先	住所 氏名 電話
		おお つ いち ろう 大津 一郎	ア	10	男				
	おお つ よ ね 大津 ヨネ	ア	78	女	車 (使用者のみ)	車種 色 ナンバー			
				男					
			女	《注意》避難した人だけを書いてください。					
注意 点	(ご家族に、病気や障害等特別の配慮を必要とする人や、入れ歯やめがねの不備等、注意点があつたらお書きください。) ヨネ 右足が不自由 (車椅子必要: 携行していません。)								
③	個人情報の 取り扱い	ご親族の方々等に安否をお知らせするため、住所、氏名、性別を公表し、また、他からの問合せに回答する予定ですが、希望しない場合は、右の欄を「○」で囲んでください。					希望しない		
④	退所日時	年 月 日 時 分				登 録	*一覧表に転記 後にチェック		
	転出先 住所 (氏名) 電話						退 所	*一覧表に転記 後にチェック	

◎ この名簿は、入所時に世帯代表の方が記入し、名簿班へお渡しください。

〔避難者の方へ〕

- 入所にあたり、この名簿を提出することで、避難者登録され、避難所での生活支援が受けられるようになります。
- 内容に変更のある場合は、速やかに名簿班に申し出てください。
- ご親族の方々等に安否をお知らせするため、住所(〇〇町〇〇丁目まで)、氏名、性別に限り公表し、また、他からの問い合わせに対し回答することとしています。
(プライバシーの問題がありますので、公表に同意するかどうかは、ご家族で判断してください。)

※ 在宅避難者・・・自宅に住むことはできるが、ライフラインの途絶などの理由で生活ができず、避難所の施設を利用したり、食料・物資の配給などを受ける者

※ 帰宅困難者・・・出張や旅行等で交通機関が不通のため帰宅できなくなった者

様式－9

名簿班 → 市担当者 → 災害対策本部事務局

(避難所名
No. _____)

避難者一覧表

No.	世帯区分 (注1)	ふりがな 氏名	避難 状態 (注2)	年 齢	性別	住 所 電 話	入 所 日 時		情報 公開	備 考 (注3)
							月 日 時 分	月 日 時 分		
1					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
2					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
3					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
4					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
5					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
6					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
7					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
8					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
9					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
10					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
11					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
12					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
13					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
14					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
15					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
16					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
17					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
18					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
19					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	
20					男・女	()	月 日 時 分	月 日 時 分	否	

- ◎ 名簿班は、避難者が記入した避難者名簿を取りまとめ、この一覧表を作成します。
- ◎ (注1)世帯区分には、世帯代表者に○印を記入し、世帯ごとに「実線」で区切ります。
- ◎ (注2)避難状態は避難者名簿と同様に次の区分とし、記号で記入します。
ア. 避難所 / イ. テント / ウ. 車 / エ. 在宅避難者 / オ. 帰宅困難者 / カ. その他
- ◎ (注3)災害時要援護者である場合は「要」と記入し、注意すべき事項も記入します。
外国人の場合は、国籍・パスポートNo.・言語・日本語(○、△、×)等を記入します。
- ◎ この様式への転記が完了したら、「避難者名簿」の「登録」・「退所」欄にチェックします。

避難所（開設・閉鎖）状況報告書

平成 年 月 日

災害対策本部事務局長 様

() 支所長

以下のとおり、避難所が施設管理者のもとに（開設・閉鎖）されたので、報告します。

- 1 開設・閉鎖 平成 年 月 日

- 2 開設場所 施設名称 ()
所在地 ()
緊急時連絡先 ()

- 3 避難所管理担当者 氏名 () ()
() ()

- 4 管理担当職員 名

- 5 臨時相談所の開設状況 (同時に開設・未開設)
開設時刻 午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分

- 6 その他報告事項

- 注
- 1 開設・閉鎖のうち該当する項目に○印を付けてください。
 - 2 臨時相談所を同時に開設した場合は、該当する項目を記入してください。
 - 3 避難所の開設にあたっては、メール・FAX等により速やかに本部事務局あて報告してください。ただし、緊急の場合等は、無線等で口頭により報告してください。

様式－ 1 3

遺体安置所（開設・閉鎖）状況報告書

平成 年 月 日

災害対策本部事務局長 様

() 支所長

以下のとおり、遺体安置所（開設・閉鎖）しましたので、報告します。

1 開設・閉鎖日 平成 年 月 日

2 開設場所 施設名称 ()
所在地 ()
緊急時連絡先 ()

3 責任者 氏 名 ()

4 行政監察医 氏 名 ()

5 遺体収容業務従事職員数 名

6 遺体収容可能数

7 その他報告事項

- 注 1 開設・閉鎖のうち該当する項目に○印を付けてください。
2 行政監察医が派遣できない場合は、その旨を報告事項欄に記載してください。
3 遺体安置所の開設にあたっては、メール・FAX等により速やかに本部事務局あて報告してください。ただし、緊急の場合等は、無線等で口頭により報告してください。

遺 体 処 理 台 帳

() 支所

(平成 年 月 日 時現在)

処理年月日	遺体発見の日時 及び場所	死亡者氏名	遺族		洗浄等の処理			遺体の一時保存料	検案料	実支出額	備 考
			氏名	続柄	品名	数量	金額				
計	/	人	/	/	/						

情報整理フォーマット

ア 関係機関対応（本部設置、応援要請、報道発表など）

現況	対応状況	問題
12/18 12:30 市災害本部設置 13:00 緊急消防援助隊要請（県へ） 13:30 DMAT 派遣要請（参集拠点：〇〇病院） 13:45 自衛隊要請（県）（活動場所・内容：〇〇） 14:00 県へ被害状況報告（No. 1） 本部会議開催（第1回） （予定）15:00 報道発表（No. 1）	13:05 県より、〇〇市消防派遣の回答 → 14:00 到着確認 13:45 △病院より （16:00 到着予定） 活動場所・内容を〇〇と連絡 15:00 到着予定 →15:30 到着	到着 未確認 県からの回答まち 到着—未確認

イ 職員・庁舎状況（被害、召集など）

施設	現況	対応状況	問題
本庁舎庁	12:30 災害本部体制 施設被害・負傷者なし		
●出張所	12:30 災害対策本部体制 負傷者あり 商用電源が停電	病院へ搬送済み 自家発電で通電中 →15:00 給電車到着	●燃料が6時間で欠乏の見通し
△出張所	電話がつながらず、状況不明	本庁舎より、職員派遣	●状況不明、被害甚大の恐れ

ウ 人的被害（死傷者）

現況（死者/行方不明）			補足	問題
2/18	12:00	30/40	未確認箇所が多数残存 被害箇所を、ほぼ全て把握 行方不明者は2箇所	遺体安置箇所不足 →B市に確保
	15:00	50/50		
	18:00	65/20		
2/19	9:00	67/10	行方不明は●地区のみ	

エ 建物被害・住宅対策

現況（全壊/半壊）			補足	問題
2/18	12:00	約 100/—	未確認箇所が多数 ○地区のみ未調査	●判定士の応援要請
	18:00	120/200		
2/19	18:00	155/320		

オ 消火活動箇所（火災・ガス漏れ等）

現況（箇所、規模）			対応状況	問題
①	A区3丁目	30	市消防2隊	●要消火隊派遣
②	B区2丁目	10 15	市消防2隊 鎮火	
③	C町1丁目	不明		
④	D町LPGタンク			

カ 救出作業箇所（建物倒壊・土砂災害など）

現況（箇所、被害状況）	対応	問題
① A区1丁目 がけ崩れ 1名死亡、4人生理	市救急1、市救助1	
② B区3丁目 マンション倒壊 多数生理	市救助1隊	●要増援
③ C町2丁目 家屋倒壊 1世帯	市消防 救出済	

キ 医療・福祉

a) 病院

施設	病床数	ICU	空床	患者数	被害状況	診察可否)	対応	問題
① 中央病院	500	5	100	150	断水・重症患者の搬送	△	給水車派遣済み	
② 十字病院	300	10	0	400	要請	○	DMAT 派遣依頼	●DMAT 到着時間未定
③ 山手病院	200	5	10	100	重傷者訪問多数、医師不足 自家発停電	△		●燃料は12時間で欠乏の予測

b) 福祉施設（被害箇所）

施設（種別）	被害状況	対応	問題
① 希望の丘ホーム（特養・入所）	断水	給水車派遣済み	

ク 避難

a) 避難所

現況（施設	開設	収容可能数	避難者数	物資	補足)	対応	問題
① 中央体育館	開設	400	150		断水	給水車派遣済み	●施設を選定中
② 東小学校	開設	300	250		児童待機中	別施設へ移動	
③ 南中学校	開設	500	600	人員オーバー	土石流危険箇所内	中央体育館へ移動 →バス手配中	

b) 避難勧告等

現況（対象地区	世帯・人数、	発令理由)	対応	問題
① 東町3丁目	10世帯20名	がけ崩れ	消防団よびかけ →東小へ全員収容	●ラジオでも放送が必要
② 西川町全域	100世帯300名	ガス漏れ	防災無線よびかけ 消防団よびかけ	
① JR学園都市駅	乗客 約100人	帰宅困難	中央体育館へ収容	●移送車両未確保

ケ ライフライン

	現況（被害状況など）	対応状況・復旧見通し等	問題
電気	停電（○地区、△地区）	2日後に仮復旧見通し 復旧作業中、給水車派遣 復旧作業中、	●給水車不足 ●周辺住民要退避
水道	断水（▽地区）		
ガス	ガス停止（◇地区） ガス漏れ（□地区）		
固定電話	不通（□地区）	復旧作業中、主要避難所設置済	
携帯電話	全社不通（□地区）		

コ 交通

	現況（被害状況）	対応状況・復旧見通し等	問題
道路	国372 大川橋 通行止め 国250 石倉橋 一車線規制 県5 一橋交差点 通行止め	運転再開まで1週間見込	●道路啓開作業用の車両が不足
鉄道	JR 山並線 私鉄 海岸線 ●駅～●駅 停止		
バス	市内全路線停止		

サ ボランティア

	現況	対応	問題
センター	2/19 10:00 センター設置（市社協）		
広報	2/19 11:00 市HPに募集掲示		
バス	今週末の土日に、●市から3台を往復		